

助役、収入役、 教育長の紹介

平成18年第1回奥州市議会臨時会で、本市の助役と収入役が選任されました。

また、平成18年第4回教育委員会臨時会で教育長が選任されました。

助 役



岩井憲男氏（65歳）
旧水沢市助役

収入役



伊藤正次氏（57歳）
旧前沢町長

教育長



菅原義子氏（62歳）
旧水沢市教育長



奥州市長 相原正明

かけつつ、均衡ある発展を目指す必要があります。
こうした基礎の上に、産業の力がみなぎる、福祉や教育が充実し、文化の香り高い13万副都を力強く構築しなければなりません。
私は、マニフェスト（政策宣言）を掲げて当選しましたが、市政執行にあたって、これを基本に、皆様の理解を深めつつ、誠実に務めてまいります。
市民の皆様とよく話し合い、皆様との協働の中で、新しい歴史を構築し、輝かしいすみらい奥州市を創造しようと強く決意しております。
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

市民のみなさん、こんにちは！
このたび、奥州市長に就任致しました相原正明です。
就任の日に、報道記者に問われるまま「この市長の椅子は、旧五市町村長の想いの凝縮した椅子だと感じます」と答えました。
五十年、百年の歴史に幕を閉じて、市町村合併を決断した市町村長さん、議会議員さん、そして何よりもそれを理解した住民の皆様の気持ちに伝えなければと思っています。
旧五市町村が築き上げてきた歴史・文化を互いに尊重し、それぞれの良さにさらに磨きを

ごあいさつ



初代奥州市長 相原正明氏

岩手の副都・13万都市奥州市の市長選挙が、3月19日に行われ、即日開票されました。
その結果、旧江刺市長を務めていた相原正明氏が、三つどもえの戦いを制し当選。初代奥州市長に決まりました。
市長の任期は、平成18年3月19日か

ら平成22年3月18日までの4年間となります。
選挙翌日の3月20日午前9時、相原市長が市役所本庁正面玄関前に到着。女性職員から贈られた花束を抱え、たくさんの市職員の出迎えと、大きな拍手の中、初登庁しました。